

令和7年度「自立した学習者」を育成するための授業改善チェックシート

村山教育事務所指導課

全ての子どもが、確かな学力を獲得し、生涯にわたって学び続ける自立した学習者になるために、私たちの児童生徒観・教育観を転換し、一人ひとりの子どもを主語にした授業改善を行うことが求められています。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の観点から学習活動の充実の方向性について改めて捉え直し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていくうえでは、学習指導に「生徒指導の実践上の視点」を生かすことが不可欠です。

自己存在感の感受

自分も一人の人間として大切に
されていると感じる

教科の本質に迫る単元、題材構想

- 子どもが各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせる学びの過程を想定し、単元や題材を構想する。
- 子どもが個々の情報や考えを関連付けたり、共通点や相違点を見だしたりして、深い学びにつながる対話や協働の場面を設定する。



自ら学びを調整する振り返りの充実

- 子どもが自分に合った学習の進め方を考えられる振り返りの機会を設ける。
- 子どもが学び直しや発展的な学習ができる教材や学習方法等の柔軟な提供や設定を行う。

自己決定の場の提供

学習において自ら考え、選択し、決定する、発表する、制作する等を体験する

自立した学習者になる

確かな学力
を獲得する

知識及び技能
思考力、判断力、表現力等
学びに向かう力、人間性等

主体的・対話的
で
深い学び



個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

共感的な人間関係の育成

自他の個性を尊重し、相手の立場に
立って考え行動できる



ICT 活用等の 柔軟性を備えた学びの環境整備

- 子どもが自分の興味や特性等に合わせて、学習の見通しを立てたり学習を進めたりする環境を整える。
- 子どもが級友や時間的・空間的制約を超えた多様な他者と協働する環境を整える。

指導と評価の一体化による 指導方法の工夫・改善

- 子どもがつまづきを克服し、資質・能力を獲得した具体的な姿を想定した評価規準を設定し、適切な支援を行う。
- 子どもが単元を通して獲得を目指す資質・能力を自覚し、学習に取り組むことのできる評価を行う。

安全・安心な風土の醸成

一人ひとりが、個性的な存在として尊重され、
安全かつ安心して教育を受けられる